

平成24年5月8日

地域教育課長

TEL 34 - 5366

第70回「奈良ひとまち大学」授業の開催について

1. 目的 奈良市に住む若い人たちが奈良市の施策に理解を深め、市政についての意見交換や思いを市政に届ける機会とするとともに若者の市政への関心を高め、奈良市の新しい魅力を発見する場・新しい価値を見出す場とする。
2. 日時 平成24年6月23日(土) 18時～20時
3. 場所 帝塚山大学 学園前キャンパス(奈良市学園南三丁目1-3)
4. 主催 奈良市(公益財団法人奈良市生涯学習財団への委託事業)
5. 講師 奈良市長 仲川 げん
6. 内容 市長と若者が奈良市の未来について語り合う
7. 定員 30名 市内在住、在勤、在学の若者(30代までの方)
8. 費用 受講料は無料
9. 申し込み方法 ホームページ上からと往復はがきによる

奈良ひとまち大学の開催

(担当課

地域教育課)

事業の概要

奈良の歴史・文化・自然・モノと、それを守り受け継ぎ、また新たに創り出す”人”に囲まれた奈良市をまるごと大学のキャンパスにみたくて、それらを観、聴き、学び、体験することによって、その素晴らしさ・おもしろさ・魅力を感じ、私たちが暮らすまち「奈良って、スゴイ！」と奈良への愛着を深めること、そして、奈良市及び地域を活性化していくことを目指して「奈良ひとまち大学」を開催する。

現状と課題、背景等

- 若い世代の流入促進及び流出防止を行うため、市民一人ひとりが奈良への愛着や誇りを深める必要がある。
- 国内外から広く注目を集め、観光客を中心とする交流人口の増加に努めるため、国際的な観光地としての魅力を再発見する必要がある。

事業実施による効果

- 生涯学習や公民館に馴染みの少ない若い世代に、奈良で頑張っている人、魅力的な人に出会える機会が提供できており、奈良への愛着が深まりつつある。
- 現地学習や体験学習を基本としており、市民・NPO・企業等、関係各所・関係諸団体との協働が図れている。

「ひと」と「ひと」と「まち」の新しいつながりのカタチ。

奈良ひとまち大学のキャンパスは奈良市丸ごと全部。先生となるのは奈良市で暮らし、働くすべての人。そんな「まち」と「ひと」がつながって、奈良の新しい魅力に触れる「学びの場」、それが奈良ひとまち大学です。



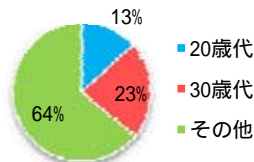
対 象 : 奈良市在住・在勤・在学の主に20代から30代の方
スケジュール: 原則毎月第4土曜または日曜に3講座程度と、特別授業を年間1・2回実施(しみんだより・HP等で掲示)
実 施 例 : 奈良の鹿関係 計6講座(奈良の鹿愛護会事務所)
人力車で見てくる奈良の風景(猿沢池)
100年の時を刻む、町屋の魅力(奈良町宿「紀寺の家」)
おもしろくて奥が深〜い、野菜のお話(清澄の里「粟」)
奈良ひとまち大学ホームページ <http://nhmu.jp/>



開催実績

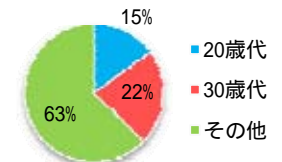
平成22年度(平成22年9月～平成23年3月)

講座数	25講座
募集人数	1,130人
応募人数	1,620人
参加人数	931人



平成23年度(平成23年4月～平成24年3月)

講座数	38講座
募集人数	1,165人
応募人数	1,265人
参加人数	833人



開 催 要 項

1. 名 称 (第70回)市長と若者のトークセッション
～「未来の奈良市」を語り合う～
2. 開 催 趣 旨 以下の「奈良ひとまち大学」の趣旨に基づき、授業を開催する。魅力的なひとに出会い、奈良のまち・文化・自然・モノに出会える場を提案する。
若い世代が奈良の歴史や文化に触れることで、奈良の魅力を感じ、自分たちの住む奈良の素晴らしさ・魅力を再発見できる機会を提供する。
奈良にある素材をふんだんに使った生涯学習を提案する。

若者の政治離れ・無関心が叫ばれて久しいが、次代を担う若者たちが、国政や自分の暮らす自治体の施策を知り、街の未来に向けて積極的に関わることが、今、求められている。またその一方で、近年、若い政治家や首長が増え、変革や地域の再生をめざし、若さと体力、柔軟な発想で自治体運営等を行っている。そこで今回は、仲川奈良市長を講師に迎えて開催する。
仲川市長は、平成21年の市長就任当時33歳で、日本で2番目に若い首長として注目されている。
授業では、ひとつのキャリアモデルとして、仲川市長がなぜ市長になったのかやその働き方を伺う。また、平成24年度の奈良市政について語っていただき、自分の暮らす奈良市の施策について理解を深める。さらに、市政についての意見交換の時間を設け、若者の意見や思いを市政に届ける機会とするとともに、若者の市政への関心を高め、奈良市の新しい魅力を発見する場・新しい価値を見出す場とすることを目的とする。
3. 開 催 日 平成24年6月23日(土)
4. 開 催 時 間 18時～20時
5. 開 催 内 容 *市長と若者が奈良市の未来について語り合う

*以上のテーマについては、講義を一方向的に聴くのではなく、受講生同士で感じたこと・思ったことを話し合い共有することや質疑応答の時間を通して、講師の方とも十分なコミュニケーションをとっていく。
6. 開 催 場 所 帝塚山大学 学園前キャンパス(奈良市学園南3-1-3)
7. 対 象 ・ 定 員 奈良市在住・在勤・在学の若者(30代までの方) 30人

- 8 . 講 師 仲川 げん (奈良市長)
- 9 . 費 用 受講料は無料。交通費等は、自己負担とする。
- 10 . 責 任 者 実施にあたっては、奈良市生涯学習財団事務局長とする。
- 11 . 広報・募集方法 『しみんだより6月号』・「奈良ひとまち大学」Webサイトに掲載し、参加者を募集する。また、必要に応じてチラシの作成等を行う。
締切日は6月15日(金)必着。応募多数の場合は6月16日(土)に抽選を行い、参加者を決定する。
- 12 . 保険について 実施にあたっては、三井住友海上「行事参加者の傷害危険補償特約付普通傷害保険」で対応する。
- 13 . そ の 他 〔警報発令時の対応〕
当日の授業開始2時間前の時点で奈良市に気象警報が発令されている場合は、中止とする。
〔従事職員〕
この授業の担当者として、プロジェクトチームの職員1名を当てる。また必要に応じて、プロジェクトチーム内外の職員に当日の従事を依頼する。